

2024年度（1年目）の取組状況について

重点戦略1 観光・交流によるにぎわい創出

① 戦略的な観光プロモーションの展開（海外プロモーション展開等）

■戦略的な情報発信・プロモーション

欧米豪や東アジア、東南アジア等を対象として、SNSを活用した戦略的な情報発信に加えて、現地商談会やイベントへの参加や、旅行会社訪問等のプロモーションを推進した。

【活動指標】

- ◆ SNS、動画投稿サイト等を活用したにし阿波の情報発信に対するリアクション数（いいね数）
＜年間2万件以上＞ ⇒ **2024年度実績：24,214 件**
- ◆ 国内外の旅行会社、メディア等を対象とした商談会への参加回数
＜年間12回以上＞ ⇒ **2024年度実績：22 回**

■広域周遊観光の推進

中四国内の他の観光地と協力関係を構築し、県内及び近隣DMO、航空会社、J N T O等との相互連携による広域周遊ファムツアーを実施した。

【活動指標】

- ◆ 国内外の旅行会社やメディア等を招請した広域周遊ファムツアーの実施回数
＜年間10回以上＞ ⇒ **2024年度実績：7回**

② 深化する「にし阿波」魅力づくり（観光コンテンツ拡充、物産振興）

■体験・滞在プログラムの開発・販売の促進

主要な観光地と、アクティビティ・世界農業遺産体験などを組み合わせた体験・滞在プログラムの開発・販売を促進した。

【活動指標】

- ◆ DMO「そらの郷」が造成した体験・滞在プログラムの参加者数
＜年間800人以上＞ ⇒ **2024年度実績：7,131人**

■歴史・文化を活かした観光コンテンツの拡充

にし阿波の隠れた歴史文化や尖った魅力を持つ逸話などの情報発信と、それらを織り込んだ新たな観光コンテンツの造成を推進した。

【活動指標】

- ◆ DMO「そらの郷」が新たに造成（造成を支援）したにし阿波ならではの歴史・文化体験プログラム数
＜年間2件以上＞ ⇒ **2024年度実績：3件**

■「千年のかくれんぼブランド」の振興 圏域の特色あふれる土産品「千年のかくれんぼブランド」商品数を積極的に増やすとともに、事業者と共同したイベント出展により、販路拡大・ブランド力強化を図った。 【活動指標】 ◆「千年のかくれんぼブランド」商品の新規登録品目数 <年間5件以上> ⇒ 2024年度実績：31件 ◆「千年のかくれんぼブランド」商品のイベント等出展件数 <年間10回以上> ⇒ 2024年度実績：14回
③ 交流人口増に向けた受け皿づくり（教育旅行の強化、観光人材育成）
■農泊施設等の受入体制の充実強化と魅力発信 農泊受入施設のスキルアップや新たな受入施設の掘り起こしのため、効果的な研修会等を実施するとともに、同施設の魅力を効果的に発信した。 【活動指標】 ◆農泊受入施設のスキルアップのための研修会等の実施回数 <年間2回以上> ⇒ 2024年度実績：2回
■将来の観光人材の育成 地元小中高生を対象に、シビックプライドの醸成や、観光産業の将来を担う人材育成に向けた「観光地域づくり出前授業」を実施した。 【活動指標】 ◆小中高生への観光地域づくり研修の実施件数 <年間10件以上> ⇒ 2024年度実績：11件
■住民や企業が主体となった「体験型プログラムイベント」の開催 地域住民自らが、地域資源の魅力を再発見し、旅行商品企画や観光客をもてなす観光地域づくりに参画する体験プログラムイベント「あわこい」の開催を推進した。 【活動指標】 ◆にし阿波体験プログラムイベント「あわこい」のイベント参加者数 <年間800人以上> ⇒ 2024年度実績：1,052人
■来訪者の安全性・利便性の向上 観光地へのアクセス道路の整備や、外国人にも分かりやすい観光・地点案内表示の適切な維持・更新を推進した。 【活動指標】 ◆「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」のアクセスルートの整備箇所数 <年間2箇所以上> ⇒ 2024年度実績：3箇所

2024年度（1年目）の取組状況について

重点戦略2 豊かな自然環境の未来への継承

① 豊かな自然環境との共生（剣山周辺環境保全、鳥獣対策）

■自然環境保全活動を担う人材育成等

県公式SNSやホームページのほか、県政広報番組やパネル展を活用して、剣山の魅力発信を行った。また、NPO法人や地元高校等、地域が一体となった自然環境保全活動や保全活動を担う人材を育成するとともに、登山道や標識の点検保守等を行うことによる登山者の安全・安心確保や、登山マナー向上に向けた啓発を推進した。

【活動指標】

◆自然環境調査・保護活動等への参加人数〔重要指標〕
＜年間40人以上＞ ⇒ **2024年度実績：56人**

◆登山マナーの向上や自然環境保全活動への理解促進を図るイベント実施回数
＜年間8回以上＞ ⇒ **2024年度実績：11回**

■野生鳥獣の適正管理の推進

ニホンジカの適正管理に向け、基礎データとなる生息状況について、剣山国定公園での糞粒調査等によりモニタリング調査を実施し、関係機関へ報告した。また、狩猟免許取得希望者へ講習を案内するなどにより狩猟者の確保を図った。

【活動指標】

◆新規狩猟者登録数
＜年間15人以上＞ ⇒ **2024年度実績：16人**

■有害鳥獣による農作物被害の軽減

農作物被害を軽減するため、防護柵・緩衝帯の設置やメンテナンス、見回りや追い払いなど被害防止対策の研修会を実施した。

【活動指標】

◆講習会等による被害防止対策普及活動回数
＜年間8回以上＞ ⇒ **2024年度実績：8回**

■環境に配慮した農業の推進

環境負荷低減につながる農業技術を普及するため、土壌診断の実施や講習会・研修会において情報提供を行った。

【活動指標】

◆講習会の開催回数
＜年間8回以上＞ ⇒ **2024年度実績：15回**

■森林資源の循環利用

「にし阿波循環型林業支援機構」の支援により造林経費の負担軽減を図るとともに、成長の早いエリートツリーの植栽の普及や、効果的なニホンジカの食害防止対策の確立を図り、林業事業体等による計画的な伐採・植栽・保育活動を支援した。

【活動指標】

◆循環型林業に向けた造林面積〔重要指標〕

＜年間103ha以上＞ ⇒ 2024年度実績：137ha

② 良好な地域環境の保全（大気・水・土壌保全）

■道路における省エネルギー対策の推進

低消費電力・長寿命の特性を有する環境に優しいLED照明灯に更新した。

【活動指標】

◆道路照明灯のLED化の推進

＜2024～2028年度 推進＞ ⇒ 2024年度実績：105基

■水環境の保全

街頭啓発キャンペーンにより、合併処理浄化槽の有用性をPRし、合併処理浄化槽の設置や単独浄化槽からの転換を促すとともに、浄化槽教室の開催等による浄化槽の適正な維持管理についての啓発を通じて、水環境の保全に向けた理解の促進を図った。

【活動指標】

◆市町等との連携による啓発や浄化槽教室の開催回数

＜年間7回以上＞ ⇒ 2024年度実績：7回

■良好な水質・大気環境の保全

事業場等からの排水・ばい煙や、建物の解体等に伴うアスベスト除去作業について、計画的かつ効率的な監視・指導により良好な水質・大気環境の保全を図った。

【活動指標】

◆事業場等への監視・指導等回数

＜年間45回以上＞ ⇒ 2024年度実績：52回

■産業廃棄物の適正処理

排出事業者や処理業者に対して知識・専門技術の向上を図る研修会の開催を案内することにより受講を促すとともに、産業廃棄物処理業者等に対して計画的な監視・指導を実施した。

【活動指標】

◆産業廃棄物処理業者等への監視・指導回数

＜年間250回以上＞ ⇒ **2024年度実績：286回**

2024年度（1年目）の取組状況について

重点戦略3 安全・安心な地域づくりの推進

① 災害対応力の強化（防災体制・地域防災）

■防災体制の充実・強化

美馬庁舎や西部健康防災公園の拠点機能を活かしつつ、市町や関連機関と連携した各種訓練等を積極的に行い、災害等への対応能力の向上を図った。

【活動指標】

◆県災害対策本部機能訓練の実施回数

＜年間1回以上＞ ⇒ **2024年度実績：1回**

◆職員・リエゾン要員を対象とする訓練の実施回数

＜年間2回以上＞ ⇒ **2024年度実績：9回**

◆西部健康防災公園を活用し、市町・防災関係機関と連携した訓練の実施回数

＜年間2回以上＞ ⇒ **2024年度実績：3回**

■地域防災力の向上

自治会や事業所、学校等と連携し、地域の災害特性に応じた防災出前講座を実施することにより、住民の防災意識や災害対応能力の向上、自主防災組織の活性化を図った。

【活動指標】

◆防災出前講座の実施回数

＜年間80回以上＞ ⇒ **2024年度実績：158回**

■災害医療人材等の育成

災害時コーディネーターをはじめ市町等関係機関を対象に、災害医療や保健衛生等に係る初動、連携等の勉強会・訓練を実施し、災害時医療保健衛生活動における専門的人材の育成を図った。

【活動指標】

◆災害時コーディネーター会議・訓練の開催回数

＜年間4回以上＞ ⇒ **2024年度実績：4回**

② 災害に備えた着実な社会基盤整備（各分野のインフラ整備）

■流域治水の推進

激甚化・頻発化する水害や土砂災害等に備えるため、流域治水の考え方に基づき、あらゆる関係者と連携し、吉野川水系等の無堤対策、ダム再生、土石流対策等を推進した。

【活動指標】

- ◆河川・砂防施設等での県土強靱化対策の推進・促進
＜2024年度 ヤナギ谷砂防堰堤完成、2026年度 吉野川加茂第二地区完成、
2028年度 西山（2）急傾斜地崩壊防止施設完成＞
⇒ **2024年度実績：ヤナギ谷砂防堰堤の本堤が完成**

■山地災害対策の推進

激甚化・頻発化する山地災害等に備えるため、被害軽減対策として、地すべり防止施設及び治山施設を設置した。

【活動指標】

- ◆山地災害対策等による保全人家数〔重要指標〕
＜年間20戸以上＞ ⇒ **2024年度実績：21戸**

■ため池防災工事の推進

住民の生命と財産を守りかつ農業基盤の保全を図るため、「防災重点農業用ため池」の整備を推進した。

【活動指標】

- ◆「防災重点農業用ため池」の防災工事完了箇所数〔重要指標〕
＜2024～2028年度 4箇所＞ ⇒ **2024年度実績：- 箇所**

■道路防災対策の推進

・徳島自動車道4車線化
令和6年8月21日に東京都内にて高規格道路整備促進のための決起大会を開催するなど、国土交通省、財務省、政府与党に要望を行った。
・県管理道路における道路防災対策
緊急輸送道路をはじめとする県管理道路において、落石対策などの道路防災対策を行った。

【活動指標】

- ◆徳島自動車道4車線化の促進
＜2024～2028年度 促進＞
⇒ **2024年度実績：重要要望4回、決起大会1回**
- ◆県管理道路における道路防災対策の推進
＜2024～2028年度 推進＞
⇒ **2024年度実績：7路線12箇所において、落石対策の推進**

■孤立化対策の推進
災害時における孤立可能性集落の防災力向上を図るため、臨時ヘリポートの点検及びドローンによる物資輸送訓練を実施した。 【活動指標】 ◆臨時ヘリポートの全箇所点検回数 <年間1回以上> ⇒ 2024年度実績：1回
■大雪に備える事前対策の推進
大雪等による集落の孤立を防止するとともに、発災時の救助活動や道路啓開活動が迅速に行えるよう倒木の恐れのある樹木の事前伐採を行った。 【活動指標】 ◆大雪時に倒木の恐れのある樹木の重点路線における事前伐採 <2024～2028年度 推進> ⇒ 2024年度実績：1,100m、738本の事前伐採
③ 安全・安心に暮らせるにし阿波づくり（食の安全、家畜伝染病対策）
■エシカル消費の普及啓発
エシカル消費についてわかりやすく普及促進するため、啓発用パネルの展示を行った。 【活動指標】 ◆エシカル消費の普及を推進するパネル展の開催回数 <年間4回以上> ⇒ 2024年度実績：4回
■食の安全・安心確保に向けた調査
食の安全・安心を確保するため、飲食店に対する食品の適正表示についての啓発や、食品関連事業者に対する広域監視を実施した。 【活動指標】 ◆とくしま食品表示Gメンの立入調査事業者数 <年間8事業者以上> ⇒ 2024年度実績：8事業者
■「ワンヘルス」理念の普及推進
「ワンヘルス」の理念を実践するため、動物の適正管理、動物由来感染症対策、災害時ペット対策等、動物に関する正しい知識の普及を図った。 【活動指標】 ◆動物に関する正しい知識の普及を図る啓発イベント等の実施回数 <年間5回以上> ⇒ 2024年度実績：5回

■家畜防疫体制の強化

家畜伝染病の発生を予防するとともに、発生時に防疫措置を迅速かつ的確に実施できるよう、訓練を行った。

【活動指標】

◆家畜防疫訓練等の実施回数

＜年間5回以上＞ ⇒ 2024年度実績：5回

■地域公共交通の維持・存続

市町が地域住民の安全・安心な生活を確保するため、生活バス路線の維持確保に要する経費に対して重点的に支援した。

2024年度（1年目）の取組状況について

重点戦略4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現

① 健やかな成長を支える地域づくり（子育て支援）

■妊娠・出産・子育てサポート

市町と連携し、妊娠、出産、子育てについての相談支援を通じて、妊産婦や乳幼児などに関する切れ目のない保健対策の充実を図った。

【活動指標】

- ◆妊娠・出産・子育てに関する専門的な相談支援件数
＜年間20件以上＞ ⇒ **2024年度実績：37件**
- ◆母子保健関係職員のスキルアップ研修会の開催回数
＜年間3回以上＞ ⇒ **2024年度実績：4回**
- ◆子ども向け講座の開催回数
＜年間90回以上＞ ⇒ **2024年度実績：102回**

■発達障がい児への支援

発達障がい者総合支援センターと連携し、発達障がい児支援のための研修会を実施することで、支援体制の強化を図った。

【活動指標】

- ◆発達障がい児支援のための研修会の受講者数
＜年間30人以上＞ ⇒ **2024年度実績：58人**

■ひとり親家庭への支援

ひとり親家庭の自立促進に向け、ハローワークとの相互連携のもと、自立支援プログラムの策定、一人一人のニーズに合わせた求人情報の提供、資格取得へのサポート等、伴走支援を実施した。

【活動指標】

- ◆母子・父子自立支援プログラムを活用した就職率
＜年間75%以上＞ ⇒ **2024年度実績：60%**
- ◆ひとり親家庭向け親子交流イベント参加者数
＜年間80人以上＞ ⇒ **2024年度実績：53人**

■児童虐待防止・DV被害防止対策の推進

児童虐待・DV被害等の早期発見・早期対応に向け、関係機関を対象とした援助技術向上研修を実施し、連携強化を図った。

【活動指標】

◆警察や市町など関係者向け児童虐待防止研修会の受講者数

<年間30人以上> ⇒ **2024年度実績：35人**

◆DV被害者等支援ネットワーク研修会の受講者数

<年間30人以上> ⇒ **2024年度実績：33人**

② 互いに支え合う地域福祉の充実（高齢者・障がい者支援）

■「地域包括ケアシステム」の充実

認知症の人や介護の必要な高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるよう、医療・介護関係機関の連携を強化し、継続的な在宅医療・介護提供体制の構築を推進した。

【活動指標】

◆地域医療に関する人材育成研修会の受講者数

<年間160人以上> ⇒ **2024年度実績：160人**

■社会貢献活動を推進する人材育成

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、シルバー大学校等の学習機会を提供し、社会貢献活動を推進する人材の育成を図った。

【活動指標】

◆シルバー大学校・大学院・「生き生きシニア放送講座」の圏域内受講者数

<年間75人以上> ⇒ **2024年度実績：72人**

■障がい者の就労支援体制の充実

「にし阿波・障がい者雇用を支える企業ネットワーク」等において、障がい者の就労促進に資する研修会等を実施し、関係者のスキルアップにより、障がい者の就労支援体制の充実を図った。

【活動指標】

◆障がい者の就労促進に資する研修会等の実施回数

<年間6回以上> ⇒ **2024年度実績：8回**

■にし阿波型農福連携の推進

障がい者就労支援施設が年間を通じて農作物の栽培・出荷を行えるよう、農業指導員を養成するため、栽培計画の作成、栽培技術の指導をした。

【活動指標】

- ◆障がい者就労支援施設の農業指導員養成数
＜年間1人以上＞ ⇒ **2024年度実績：1人**

■パラスポーツの普及推進

「徳島県パラスポーツ協会」や「総合型地域スポーツクラブ」等の関係機関と連携し、パラスポーツ大会や交流会等を開催することにより、「にし阿波」におけるパラスポーツの普及と裾野の拡大を推進した。

【活動指標】

- ◆パラスポーツ大会や交流会等の開催回数
＜年間8回以上＞ ⇒ **2024年度実績：9回**

■生活困窮者支援、生活保護制度による自立支援

市町、社会福祉協議会などの関係機関と支援ネットワークの強化を図るため、意見交換を行うとともに、生活保護受給者に対して自立支援プログラムを策定し、効果的・効率的な就労支援を実施した。

【活動指標】

- ◆生活困窮者の自立支援に関する会議の開催回数
＜年間3回以上＞ ⇒ **2024年度実績：3回**
- ◆自立支援プログラムを活用した生活保護受給者の就職率
＜年間70%以上＞ ⇒ **2024年度実績：100%**

③ 健康寿命の延伸（糖尿病対策、COPD対策、こころの健康対策）

■生活習慣病対策の推進

関係機関・団体と連携し、子どもから高齢者まで各世代に応じ、運動習慣の定着や食習慣の改善に向けた取組を推進した。

【活動指標】

- ◆「にし阿波・糖尿病サポーター」養成数
＜年間15人以上＞ ⇒ **2024年度実績：23人**
- ◆野菜摂取量アップ対策及び食環境づくりに取り組む事業所の新規登録数
＜年間5事業所以上＞ ⇒ **2024年度実績：5事業所**

■受動喫煙防止・COPD対策の推進

たばこ、COPDに関する正しい知識の普及や受動喫煙防止対策など、たばこの煙のない、おいしい空気のにし阿波づくりを推進した。

【活動指標】

- ◆小中学生等を対象とした喫煙防止講座の実施校数
＜年間18校以上＞ ⇒ 2024年度実績：20校
- ◆飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する啓発活動回数
＜年間8回以上＞ ⇒ 2024年度実績：9回

■自殺対策・ひきこもりへの支援

自殺予防のため、身近な場所で気軽に相談できる環境づくりや相談機関への橋渡しができる人材の育成を進めるとともに、当事者等への個別支援に取り組み、ひきこもり支援対策を推進した。

【活動指標】

- ◆小中高生の「こころの健康リーダー」等養成数
＜年間12人以上＞ ⇒ 2024年度実績：17人
- ◆ひきこもりに関する相談支援件数
＜年間50件以上＞ ⇒ 2024年度実績：86件

2024年度（1年目）の取組状況について

重点戦略5 ひとを惹きつけるにし阿波のしごとづくり

① 多様な交流と地域活性化の好循環（定住・移住促進、世界農業遺産）

■人材確保に向けた交流機会の創出

若者の地元定着・回帰を促進するため、地元の高校生等と地元企業で働く社会人との交流会を開催した。

【活動指標】

◆地元企業への就職・定着に向けた交流会等への参加者数
 <年間20人以上> ⇒ **2024年度実績：30人**

■地域資源を活かしたサテライトオフィスの誘致

管内2市2町と連携の上、にし阿波に関心のある県外企業を招聘し、現地視察ツアーを実施するとともに、進出事業者との交流機会を創出した。

【活動指標】

◆サテライトオフィス新規進出企業数
 <年間1社以上> ⇒ **2024年度実績：0社**

■地域製品の販路開拓支援

都市部から多様な業態のバイヤーを招き、生産現場等への産地ツアーを実施したうえで個別商談会を開催した。

【活動指標】

◆商談会等への参加事業者数〔重要指標〕
 <年間2割増加> ⇒ **2024年度実績：12社**

■傾斜地農耕システムの次世代継承

傾斜地農耕システムの歴史や農法を伝える出前授業等のSDGs教育や、農作業ボランティア等による保全活動を推進し、次世代への継承を図った。

【活動指標】

◆世界農業遺産を活用したSDGs教育実施回数
 <年間30回以上> ⇒ **2024年度実績：32回**

◆ボランティア等による保全活動の実施回数
 <年間10回以上> ⇒ **2024年度実績：12回**

◆食文化をテーマとしたイベント等の開催回数
 <年間20回以上> ⇒ **2024年度実績：32回**

② もうかる農業の推進（農業振興）

■にし阿波いちごタウンの実現

周年いちご産地における新規就農者の育成を図るため、コンソーシアムを設立し、首都圏等から新規就農者の呼び込み、栽培研修「にし阿波いちご塾」の開講、スマート技術等の導入実証を実施した。

【活動指標】

◆新規就農者育成研修受講者数

＜年間1人以上＞ ⇒ 2024年度実績：4人

■多様な農業人材・経営体の育成

新規就農者、青年農業者、女性農業者など、地域の農業を支える担い手を確保・育成するため、土づくりや農薬適正使用、スマート技術などの研修会を実施した。

【活動指標】

◆講習会、研修会の開催回数

＜年間9回以上＞ ⇒ 2024年度実績：15回

◆新たな農業技術（スマート農業技術、環境保全型農業技術等）に取り組む経営体育成数

＜年間4経営体以上＞ ⇒ 2024年度実績：6経営体

■担い手への農地の集積・集約化

市町、農地中間管理機構と連携し、農業法人等の大規模経営体への農地の集積・集約を促進するため、研修会等で制度等を周知した。

【活動指標】

◆農業法人等への集積面積

＜年間30ha以上＞ ⇒ 2024年度実績：37ha

■農業基盤整備の推進

意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えるため、区画整理やパイプラインなどのきめ細やかな農業基盤整備の推進に取り組んだ。

【活動指標】

◆事業化に向けた研修会の受講団体数

＜年間10団体以上＞ ⇒ 2024年度実績：20団体

③ 持続可能な森林・林業の確立（林業振興）

■木材生産基盤の強化

森林クラウドによる情報の利活用推進による新たな施業地の確保や、路網の開設を進め、伐期を迎えた地域資源である大径材を主力に木材（素材）生産量増加に努めた。

【活動指標】

◆素材生産量の増産

＜年間4,300m³以上＞ ⇒ 2024年度実績：生産量211,443m³（△3,913m³）

◆林内路網の開設延長

＜年間80km以上＞⇒ 2024年度実績：85km

■主伐後の植栽支援

「にし阿波循環型林業支援機構」による主伐後の植栽支援や、大型ドローンでの資材運搬による経費の削減を図るとともに、効果的な二ホンジカの食害防止対策の確立を図り、主伐後の確実な再生造林から保育に至る「循環型林業」を推進した。

【活動指標】

◆循環型林業に向けた適正な伐採・植栽・保育による林業普及活動件数

＜年間50件以上＞ ⇒ 2024年度実績：61件

■林業の担い手確保

地元子ども達に森林・林業に関心を持ってもらえるよう、保育所や認定こども園、小中学校で森林・林業教室を開催するとともに、「三好林業アカデミー」への技術的な運営支援により担い手確保を図った。

【活動指標】

◆「木育」普及活動の実施回数

＜年間3回以上＞ ⇒ 2024年度実績：4回

◆林業体験実習件数

＜年間2件以上＞ ⇒ 2024年度実績：3件

◆三好林業アカデミー入学者数

＜年間5人＞ ⇒ 2024年度実績：5人